

# 今週のコロナニュース

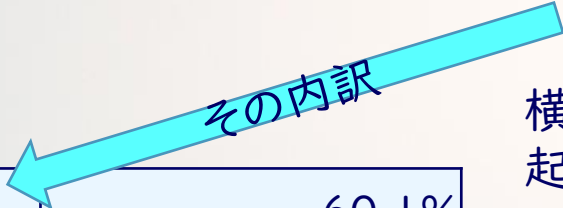
令和3年9月27日

ウチの洗濯機しゃべるんです。洗濯しようとするとなんか小ネタ言ってくる。  
洗剤の量がどのくらい必要かとかだけじゃなくて、洗濯の豆知識とか終わったときに終わりましたとかもいうんですよ。  
んで、お洗濯お疲れ様とかいうもんで、なんや!ボタン押してるだけの僕に嫌味か!って言い返す自分がだいぶヤバイ感じに仕上がってきてます。  
で、しゃべる言葉リストとか調べようとネット見てたら、なんと最近の家電は有名声優の声でしゃべる機能がつくらしいですね。  
いいなあ、ほったらかし家電に“生殺与奪の権を他人に握らせるな!”とか、タイマー止めたら“ザ・ワールド!”とか言われるんですかね。でもコインランドリーで“金は命より重い”って言われたくはないですね。

# いろんなアレルギーがあってもファイザーワクチンが打てるのよ

アレルギーがある人に対してはワクチンを接種してから30分くらい待機して問題がないかどうかをみるって言われますね。ただ何のアレルギーよ?という話で、青魚や小麦、金属、男性。色々あると思います。

今回は何らかに対しての重度のアレルギーを持つ429人に対してワクチンを打ったら安全だったかを見ています。



薬剤	60.1%
昆虫刺創	14.0%
食物	31.2%
アレルギー性鼻炎	37.3%
喘息	22.4%
複数のアレルギー	30.3%
アナフィラキシー歴あり	63.2%
アドレナリン常備	22.1%

横の表のように重度のアレルギーの人は結構な確率でアナフィラキシーを起こしたことがあり、アドレナリンを常に持っている人も多かったようです。

## 1回目の接種後

**9人** (2.1%) が何らかのアレルギー症状が出た  
→6人は痒みや赤みなどの軽いものであった  
→3人は息苦しさなどですぐに治療を行い数時間で改善した(入院なし)。

## 2回目の接種後(合計214人)

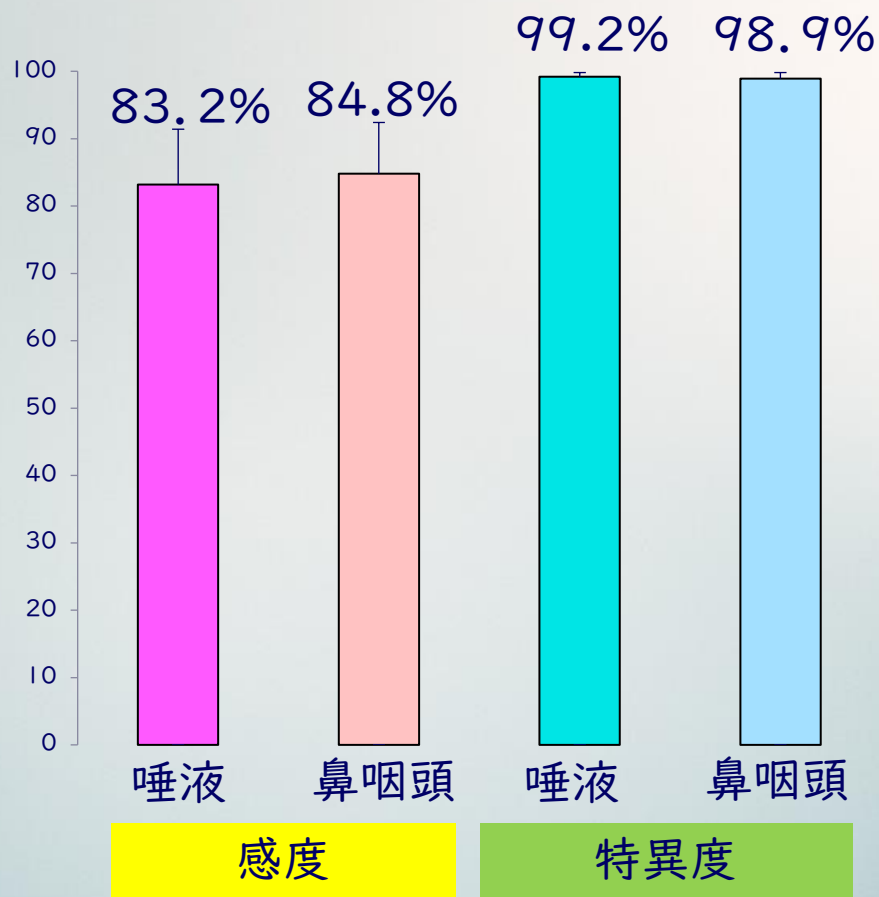
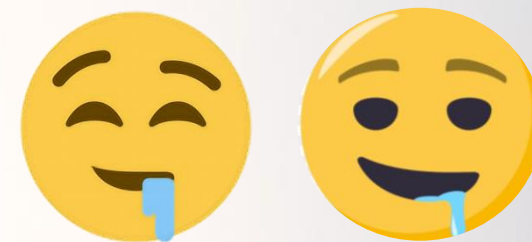
**4人** (1.8%) が何らかのアレルギー症状が出た  
→3人は痒みや赤みなどの軽いものであった  
→1人は咳が出たということで抗ヒスタミン薬を使った。

その他のワクチン後の発熱や頭痛、倦怠感などは、特に通常の集団と変わりなかったということでした。

結論としては、このワクチンの成分以外で何らかのアレルギーがある人は、それが重度でも接種後にしっかりと症状チェックすれば安全に接種できるということでしたね。

# 唾液と鼻咽頭どっちのPCRがいいの？

唾液は誰でも取れるし楽だけど、鼻咽頭拭い液(通称:鼻面棒)と比べて性能が落ちたりしないの?ってことでそういう比較です。コロナ疑ってるのに唾液にしなきゃよかったってなったら困りますからね。



で、それらを比べられたものなのですが、症状がある疑われる患者さんを対象に多くの論文を比較したら、ほぼどちらも同等だったということでした。

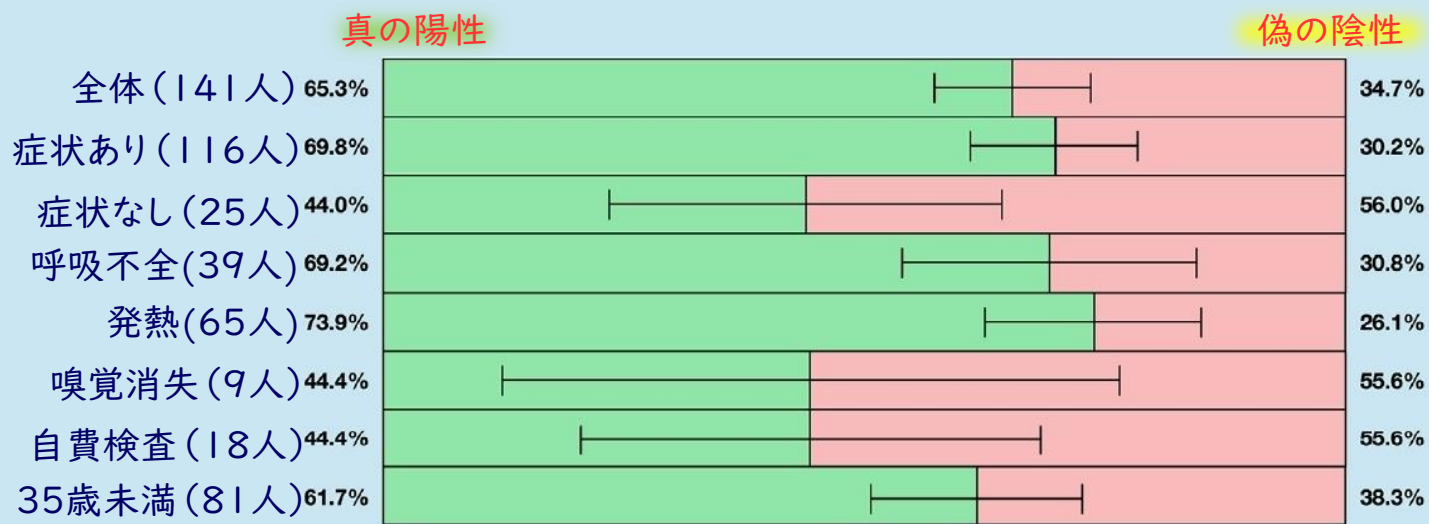
ただもう一つの論文の方では、鼻咽頭と比較すると唾液は85%、咽頭拭い液は68%ということで、とり方次第でだいぶ感度落ちるっていう物もありました。

個人的には鼻綿棒も唾液も感度が70%っていう従来のイメージよりは高い気がします、疑っている人でも見落とされることはあるには変わらないので、陰性でも注意が必要です。

# 学校や施設での抗原検査はどのくらい正確なの？

抗原検査は施設とか学校で行うことができますが、こちらも実際はどのくらいの感度なのでしょう。

新型コロナウイルス確定の人



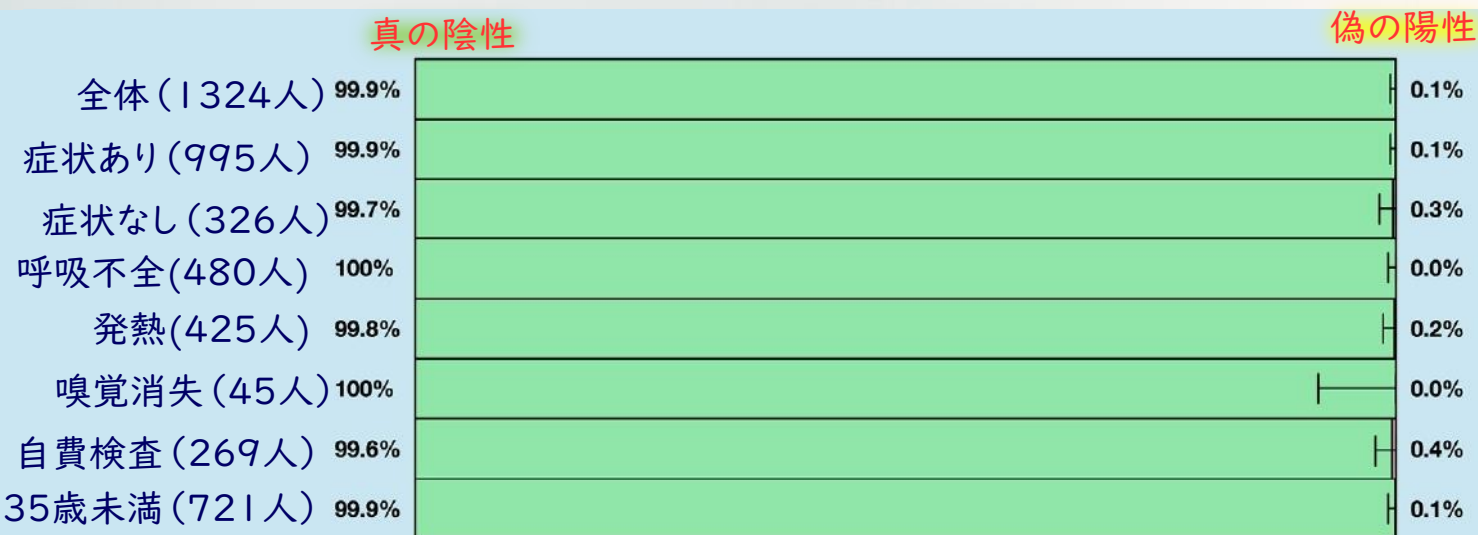
一般的にPCRより抗原検査のほうが感度は落ちるわけです。つまり、「陽性になりにくいし、陽性でも偽物(実は非コロナ)かもしれない」のですが、ある会社のキットをコロナ確定患者と非感染者に行った結果です。

これをみるに、上の図では確定患者でも

- ・症状があっても70%くらいしか陽性にならない
- ・症状がないと44%くらいしか陽性にならない
- ・発熱があつたら74%くらい陽性になる。

みたいなことが言えますね。

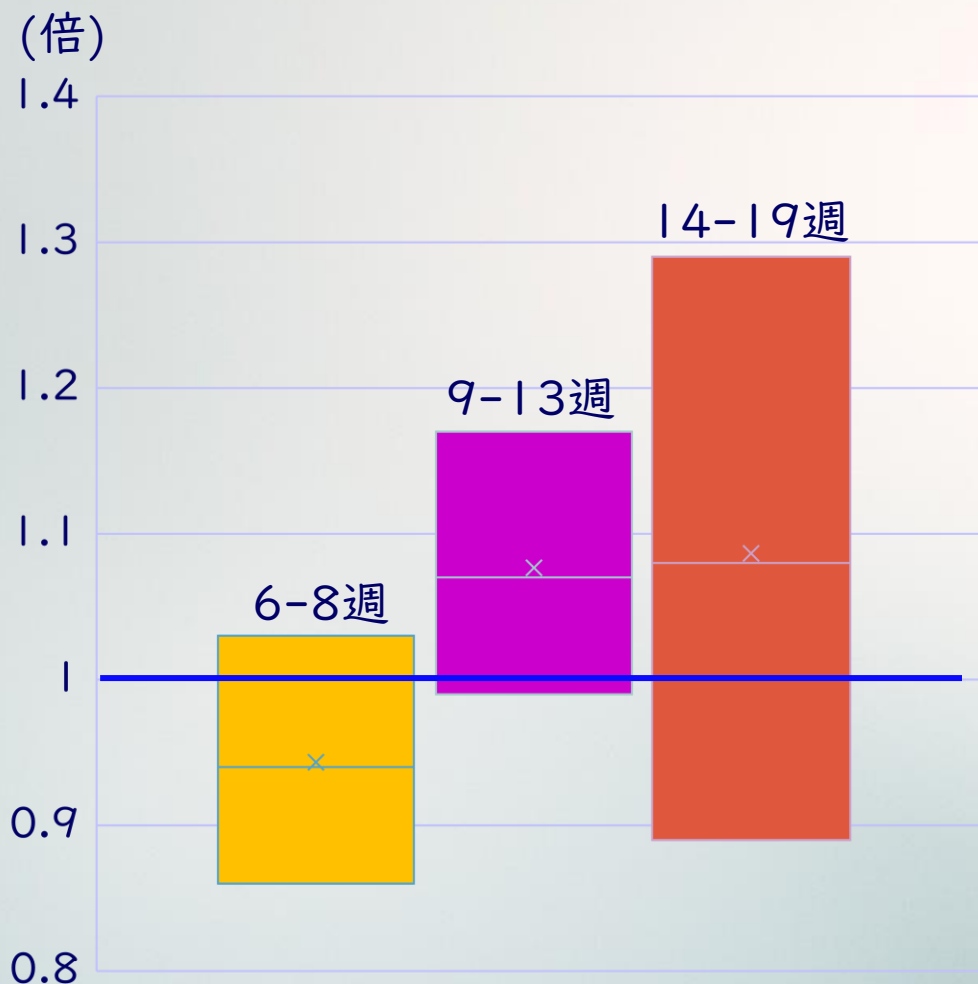
新型コロナウイルスではない人



下の図では、コロナじゃない人に対しては、ほぼ陽性にならない。ってことで間違えて陽性でコロナ扱いされる人はほぼいないわけですね(間違えて陰性は多いわけですね。)

製造会社やとり方によって結果は変わります。結果の陽性はコロナ確定でいいけど、陰性でも安心しちゃダメよ、ってことですね。

# 妊婦さんの新型コロナワクチンと流産の関係



それぞれの週数での流産リスクが、非ワクチン接種妊婦の流産リスクより1倍を挟んで幅があるという図ですね。こういう状態を差が無いと表現します。リスクが1を挟まなければリスクありとします(低いか高いか)。

	妊婦の合計人数		自然流産した妊婦の人数	
	妊婦全員	ワクチン接種妊婦	妊婦全員	ワクチン接種妊婦
	250944	8.0%	13160	8.6%
妊娠年齢				
16-24	37210	3.6%	1433	5.8%
25-34	156166	8.0%	6640	7.4%
35-49	57568	11.1%	5087	11.1%
妊娠週数				
6-8週	57355	9.1%	5238	9.2%
9-13週	88982	6.8%	6652	7.9%
14-19週	104607	8.5%	1270	9.3%

妊娠初期の妊婦さんがワクチンを打つと流産のリスクがあがるかっていう報告ですね。

上の図では妊婦さん全体と自然流産した人の人数で、そのうちワクチンを打っていた人がどのくらいいたかですが、流産した人の比率も合計の比率もほぼ同じ。つまり妊娠初期も影響しないと言っております。

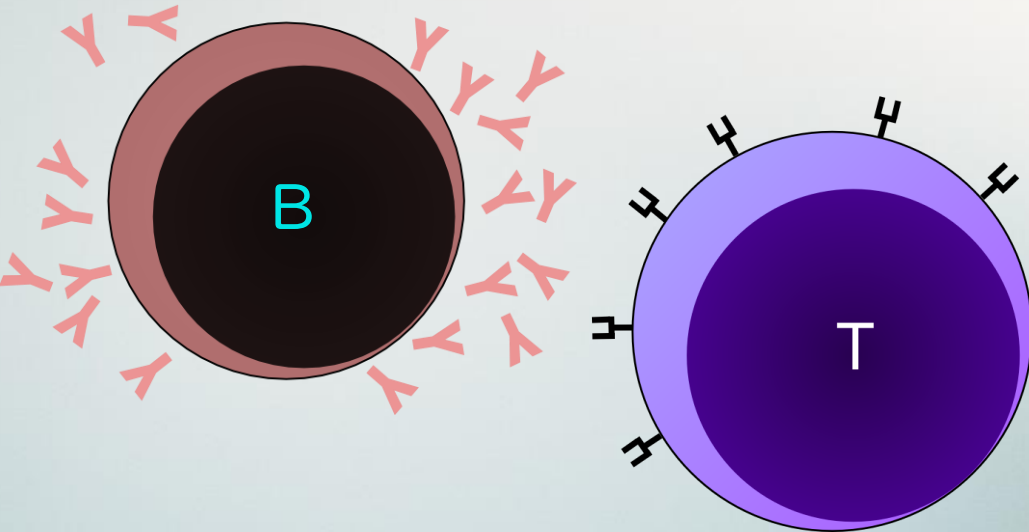
妊娠初期でもワクチンは安全に打てるという事で米国でも日本でも積極的な接種を推奨されております。

# ワクチンってそもそもどのくらい間隔あけると良いの？

世の中は3回目打つのかどうかと言う話になっていまして、個人的には、皆が2回打ってあとは毎年感染して毎年免疫を強化していくか、死んでもかかりたくないから毎年のように打ち続けるのを繰り返すか。どちらかを社会全体が決めなきゃ行かんと思っております。さて、そうはいつでも2回目が3, 4週間後ってのは別にトランプが決めただけでもなくて、効果の持続などを装丁して決めただけでもっと長い方が良いのかもしれませんが。今回はそんなお話。

免疫の細胞には2つあるんですね。

Bさん・・・抗体というウイルスと戦う兵士を量産する。抗体は感染するかワクチンを打つかによって作られる。



Tさん・・・ウイルスに感染した細胞を直接攻撃する。一部のTさんはウイルスを死ぬまで記憶して、次来たらすぐに攻撃部隊を動かす。

Bさんはワクチンを打つと抗体を作ってくれますが、長くは作れません。だから抗体はせいぜい数年でどんな感染症も減っていきます。

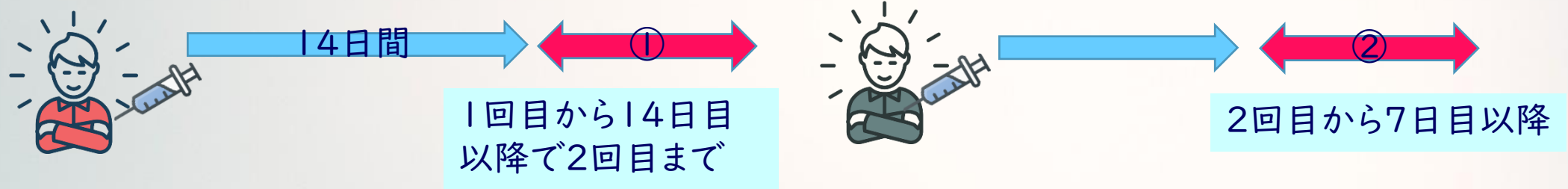
でも一部のTさん(メモリーT細胞)は一度ワクチンを打つと次の感染で急速に免疫反応できる用に覚えててくれます。でもこれは測定できないからどのくらいあるか分からない。

どうもファイザーのワクチンは3-4週後に2回目を打つより、6-14週後が良さそうで、8週間後が最もセクシー。ってことで、このタイミングで接種すると、抗体は高く反応するし、記憶するTさんをより促進させるという事が分かったようです。

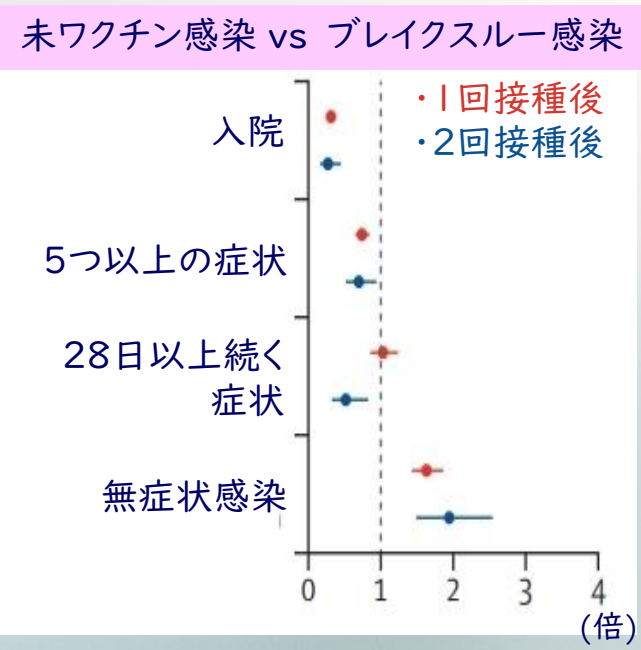
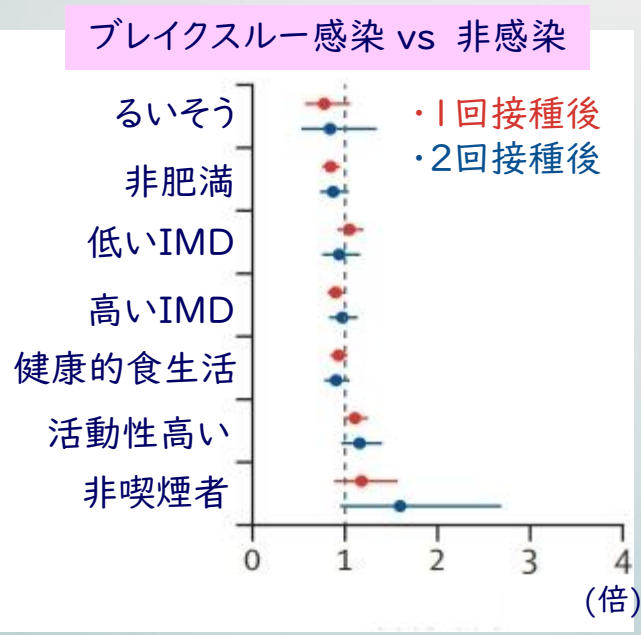
なので英国では1回接種の人に任意で期間を開けることも検討してもらってるみたいです。まだまだ知らないことだらけですね。

# ブレイクスルー感染した人ってどういう人達??

ブレイクスルーと言えば大前研一、って言っても分かる人は少ないですよ。ワクチン2回打ったら感染は劇的に減ります。これ我々の実感でメッチャ感じてます。皆さんが想像している以上に効いているのに、一人でも感染する人がいたら「ほらワクチン効かない!」って騒ぎ立てる世の中。絶対なんて絶対無いのにね。さて、イギリスではアプリを使ってどういう人がブレイクスルーしたのかを調査しました。そこで出た結果です。



この上の図のように、①と②の期間の感染者をアプリで調べて、その人達の背景(性別、年齢、仕事、BMIなど)を合わせて比較しました。



この上の図のように、①と②の期間の感染者をアプリで調べて、その人達の背景(性別、年齢、仕事、BMIなど)を合わせて比較しました。

この縦の点線がワクチン打っている人と打っていないの比較で、1倍より左なら「感染者の方が多出来事」、右なら「非感染者の方が多出来事」です。

要するに、痩せが強く、貧困で、喫煙者ほどワクチン打っても感染しやすい。  
 ワクチンを打っていないと、有症状率も高いし、症状も多いし、入院も症状遷延も長い。って事です。  
 やっぱりワクチンはすごいで!

IMD; 収入、教育、職業、健康、犯罪、居宅、生活環境の貧窮を評価したもの

# 抗体カクテル療法はどれほど有効なの？

個人的経験では正直信じられないくらい有効です。ガチでワクチンと抗体カクテル療法でコロナは勝負アリと思うくらいです。っても、100%感染しないわけでも、100%救命できるわけでもないです。適切に流通すれば、医療崩壊が起きず、他の病気と遜色ない予後まで行ける可能性が高いって意味です。要するに普通の病気出来るぞコレ。って感じです。

で、コクランってところがこの抗体療法のまとめを書いているのですが、それによると抗体カクテル療法は、外来治療をすることにより、入院する率を**57%-81%**減らしてくれるそうです。

要するに単純に考えると病床が1/2から1/5で済む訳です。

でも入院した後の症状が悪くなってしまっている人に使っても全然効かない。って事ですね。

つまり、抗体が出来るのより悪くなる方が先だから、そうなる前に直接抗体を叩き込む!というわけですね。

しかも極めて安全で、副作用が疑われて注射後に発熱などでERを受診し利入院した人は**0.9%**くらいだそう。

第6波が来る前に適応がある人にはドンドン打てるようなシステムが出来るとだいぶ変わると思います。  
なんとももっと広まると良いですね。





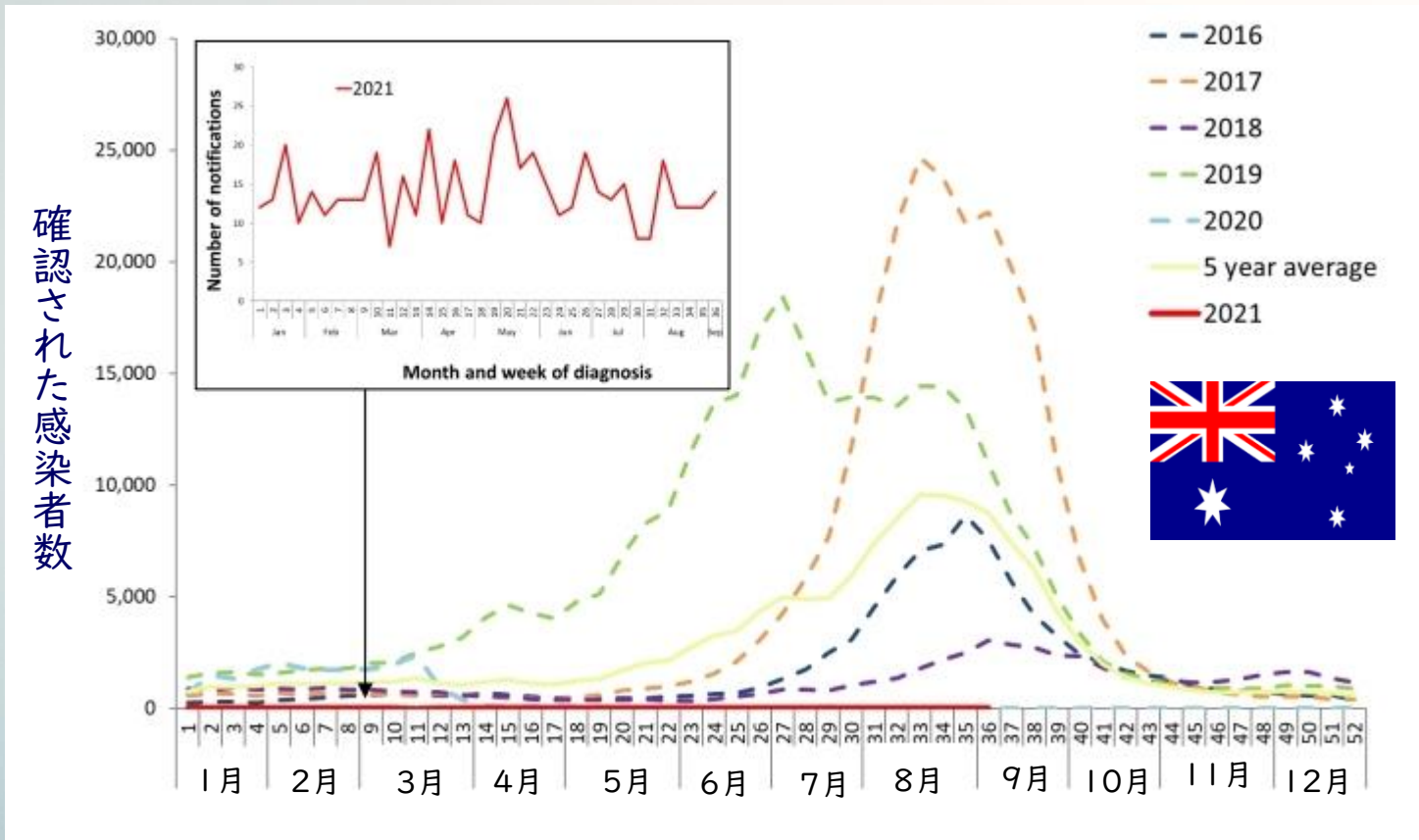
# インフルエンザはこの冬どうなりそう？

インフルエンザって毎年9月終わり頃にはもう患者さんが増え始めるんですよ。でも今のところそういう気配はないですね。基本的に春夏で南半球で流行したものが日本に入ってきます。去年全くなかったのは「そもそも入ってきていないから」です。

じゃあ今年は何？

- ・南半球で流行ったの？
- ・流行っていたらそれが日本に持ち込まれるの？
- ・前の年にワクチンをしっかり打っていた？

を確認します。



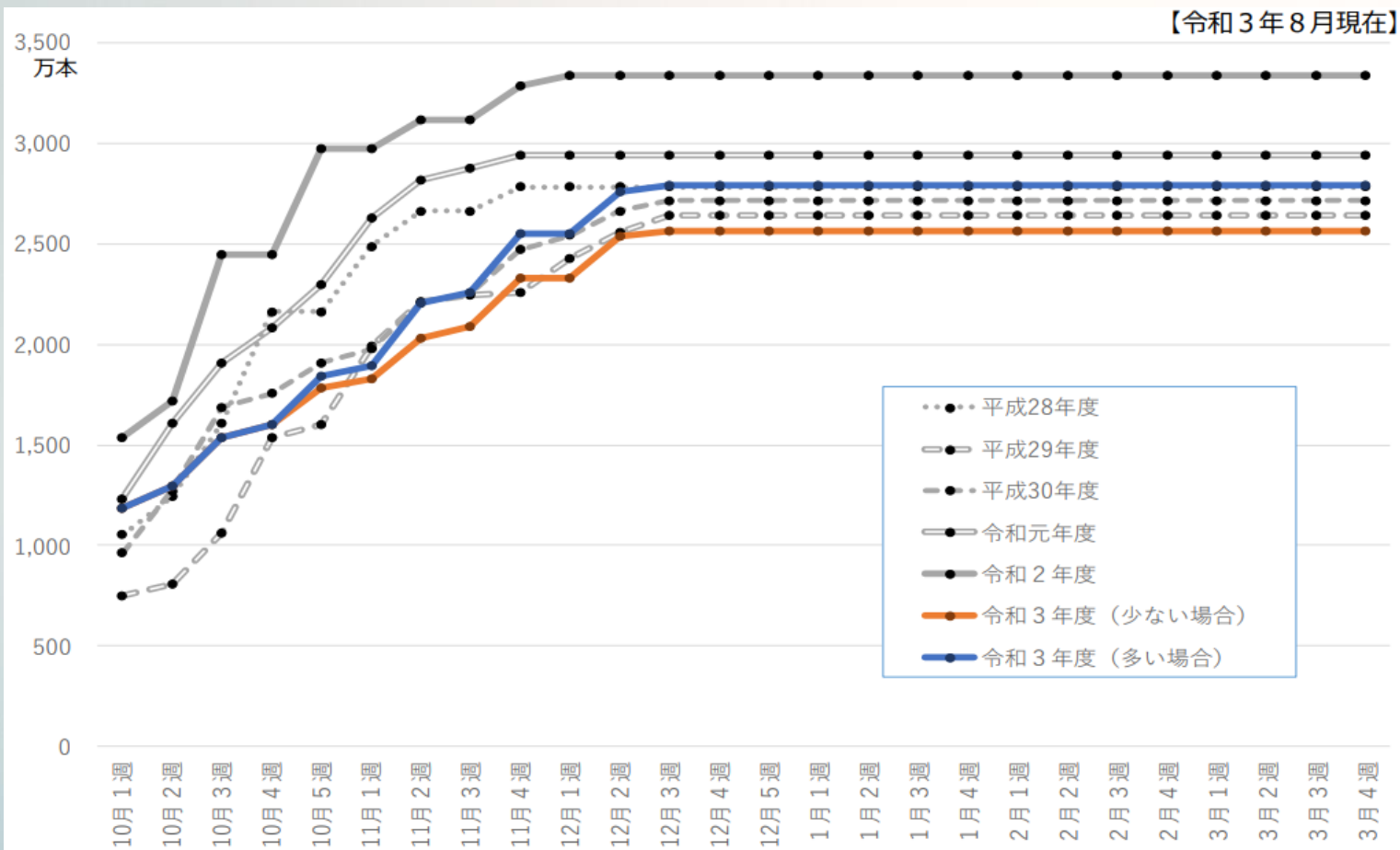
でオーストラリアですが、2020は1-3月で少し出ました。でもそれ以降はほぼ0。今年是最初からほぼ0だから。なんと今年はall-time low! (過去最低)の発生数。他のアジアの国もほぼ同様です。ちなみに中国でB型が少しでてました。

となると、日本にそれが持ち込まれる可能性は極めて低くなるわけですね。そうすると入国者が増えなければ、おそらく日本もほぼ流行らない可能性はあります。ただ、去年はワクチンをたくさん打っていたからというのもあるかもしれません。

# インフルエンザのワクチンはどのくらい手に入るの？

去年はフル稼働でたくさんのワクチンを接種されましたが、今年はそれほどでもないです。毎年過去最高のモノが出来るどこかのワインと違って、その年ごとに必要な量をしっかり計算されて供給される必要がありますからね。

最初の頃は少し供給が落ちるとい話もありましたが、若干日程が遅れているだけおそらくは必要な量は手に入ると思います。



確かに、インフルエンザは減っていますが、今年絶対誰にもおこらないというわけではありません。絶対なんか絶対無いです。

コロナのワクチンとかぶるタイミングの人もあると思いますが、現状では、

コロナのワクチンは他のワクチンと  
**前後2週間あけること**  
になっています。

そうするとファイザー製だと3週間回しだから、1回目と2回目の間にインフルエンザを打てないので注意が必要ですね。

でも実は米国CDCはコロナのワクチンは他のワクチンと同時に接種OKって9/15に言ってます。日本もそうなる可能性が高いですね。

## まとめ

ちょっと今回は量が少ないですが、それだけ新しい情報が入らなくなっているくらい世の中に情報が飽和してきているって事ですね。良いことだと言うこととしましょう。変な変異株がー!って騒がれることもないです。でも考え方が逆で、世の中が不安になると玉石混交の情報が増えるんです。患者数が多いときは変異がー。若者がー。政府がー。ですけど、患者数が減ると途端に誰も話題にしなくなる。そんなもんです。もう皆さんそういうアオリには慣れてますよね。

ちまたではそろそろ5類にするとかいろいろ言われておりますが、まずは皆さんがこの病気をどうしたいかだと思います。世の中に数ある病気の一つにする覚悟があるのか。というだけだと思います。ワクチンが本当に広まったらそれ以上やれることはもうほぼないです。ただ、実は皆さんも振り回されていますが、医療現場はさらに振り回されています。これだけ山と谷がある患者数だと、病院を1カ所に集中して良いのか、どこでも見れるようにした方が良いのか決められないんですよ。箱物作ったらスッカスカだし、人減らしたらまた波が来るし。そのたびにイチャモンつけられるし。。。なんだかねーですよ。

とにかく、第6波が来るというのが確実というなら、それまでにいかにワクチンを若い人まで拡げていけるかです。成人が全員ワクチンを打っていれば、おそらくめっちゃめっちゃコントロールできるようになります。やることやったらドンドン経済を回して行くしかなさそうで、そろそろそういう話の時期に来ている感じですね。